

## ▶ 広島和牛の取組方針決定！ ～ 令和6年度広島牛振興協議会の総会開催 ～

令和6年5月31日（金）、JAビル（広島市中区）において広島牛振興協議会の総会を開催し、今年度の広島和牛増頭対策等の取組方針を決定しました。冒頭、安藤重孝会長より「新型コロナウイルス感染症の分類変更を受けて経済活動が再開され、和牛の需要は大きな転換期にある。本年度は、雌牛の導入・保留促進、ICT機器の導入支援事業等を通じ、特色ある広島牛生産振興をしていきたい。」と挨拶があり、続いて今年度の事業についての協議がなされ、今年度の主な取組内容が、以下のとおり決定しました。各事業については、農協等を通じて行われます。県畜産課からは、県の事業概要についての情報提供がなされました。

### ☆優秀基礎牛導入

助成単価	導入後の繁殖頭数	対象月齢	助成条件	
			父牛	母牛
70,000 円以内	増頭	12か月未満	どちらかの育種価が平均以上	
30,000 円以内	維持			

### ★優秀基礎牛保留

助成単価	対象月齢	助成条件	
		父牛	母又は母方祖母
20,000 円以内	12か月以上 15か月以内	県内外で育種価判明し、 地域利用されている 広島県種雄牛造成に 利用したもの	県の最新育種価で BMS育種価が1.0σ以上

(追加助成)

助成単価	助成条件
30,000 円以内	☆、★または全農直営牧場繁殖雌牛等分譲事業要領の対象となり、父牛が広島県有種雄牛である場合、追加助成を行う。
30,000 円以内	★の事業の対象となり、母牛のMUFA育種価が1.0σ以上である場合、追加助成を行う。

### 種雄牛造成指定交配

助成単価	助成条件
10,000 円	育種専門部会が認める育種牛のうち、「特定種雄牛」の交配を2回以上実施、または受胎 (特定種雄牛:県の種雄牛造成対象となった牛)

### 新規種雄牛交配促進

助成単価	対象父牛	助成条件
1,000 円 県家畜人工授精師協会 へ交付	花金百合 花峰勝	新規種雄牛の種付け
20,000 円	芳福照	現場後代検定の調査子牛を、子牛市場から導入

### 育種牛認定

助成単価	助成条件
50,000 円以内	育種専門部会が広島県育種牛として認定

### 繁殖雌牛群の能力向上

助成単価	対象月齢	助成条件
6,500 円	なし	高等登録を受検
20,000 円以内	(導入) 12か月未満 (保留) 12か月以上 15か月以内	高等登録牛産子を繁殖雌牛として導入・保留 ※導入の場合、同一JA管内の生産者が出荷した牛

### 優秀遺伝素材受精卵確保

助成単価	助成条件
200,000 円	優秀な遺伝素材を有すると思われる繁殖雌牛を、供卵牛として振興協議会へ貸与

### お試しレンタル放牧推進

助成単価等	助成条件
機材の無償貸出	新たに放牧を始める生産者
10,000 円以内	新たに放牧を始める生産者が、必要資材を購入
1日500円 (上限50,000円)	新たに放牧を始める生産者が、放牧牛をレンタル

### ICT導入支援

助成単価	導入経費	助成条件
100,000 円	50万円以上	農水省発行のスマート農業技術カタログにおいて和牛繁殖に資する機器 または広島県推奨のICT機器を新規導入
上限50,000 円	50万円以下	

条件の詳細や申請方法等、各事業については農協にお問い合わせください



➤ 第13回 全国和牛能力共進会@北海道にむけて ～あと1142日！～

第13回全国和牛能力共進会（全共）は、「魅力発信 新しい力でつなぐ 和牛の未来」をテーマに掲げ、令和9年8月26日～30日に北海道音更町及び帯広市にて開催されます。また、先日、全共北海道大会とあわせて北海道の魅力を発信する、PRイベントのテーマが決まりました。300点の応募作品から決定されたテーマは、「Wa Gyu Ready? 和牛の次なる1歩は北の大地から 和牛の祭典2027」です。



会場イメージ（全共実行委員会 HP より）

前回の鹿児島大会は、5日間で30万人超が来場し、県内への経済波及効果は66億円を超えると言われていました（鹿児島県調べ）。今回は夏の北海道、さらに新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたこともあり、大いに盛り上がる事が期待できそうですね！

令和9年と聞くとまだまだ先のように感じてしまいがちですが、肉牛の部では、5月の子牛市からプレ全共に向けた素牛導入が開始されましたし、種牛の部若雌区においては、令和7年3月から出品牛作りの交配が始まります。3年後に向けた取組は着実に進んでいます！

広島和牛 News では、今後も全共に関連した取組・ニュースを紹介していく予定です。

➤ 家畜人工授精に関する講習会が開講されました



会場の様子。後ろからでも、皆さんの真剣さが伝わってきます。

令和6年7月8日（月）、県立農業技術大学校（庄原市是松町）において、学生10名を含む20名の受講生全員参加のもと、令和6年度家畜人工授精に関する講習会が始まりました。開講式のなかで、広島県畜産課・小川寛大課長（代読）は「令和2年に家畜改良増殖法が改正され、家畜人工授精師の責務は、一層重くなった。皆さんには、改正内容も含めて正しく理解してもらいたい。」と挨拶されました。

また、農業技術大学校の佐々木誠校長は、「この講習は、本校で取得する全資格の中でも魅力あるカリキュラムと位置付けている。皆さんには、貴重な畜産の担い手として期待しています。」と、大学校在校生も含めた受講生へのエールを送られました。

受講生は、県畜産課から受講にあたっての説明を聞いた後、早速1つめの講義を受けました。これから約1か月の間、家畜の繁殖生理や人工授精技術などについて座学及び実技の講習を受け、最終日に行われる修業試験に臨みます。

★ 広島県からののお知らせ① ★ ～令和6年4月1日から体外受精卵製造等の手数料が変わりました～

資材価格高騰等により、従来価格での提供が困難となったため、次のとおり手数料を改定しています。

手数料名	改定前	改定後
受精卵凍結処理	20,000円	<b>22,000円</b>

手数料名	改定前	改定後
体外受精卵製造	56,000円	<b>60,000円</b>

- ・手数料は税込表記。
- ・令和6年4月1日付けで改定。

上記手数料の変更について、皆様の御理解・御協力の程、何卒宜しくお願い致します。

★ 広島県からののお知らせ② ★ ～家畜改良増殖法に基づく立入検査について～

令和2年10月の法改正を受け、農林水産省（中国四国農政局）による家畜人工授精所への立入検査が義務化されました。広島県内では、令和4年12月中旬から本格的な立入検査を実施しています。

家畜人工授精所の協力の下、令和6年6月末時点で、全体の49%にあたる37件の立入検査が完了しました。

なお、これまでの立入検査にて、口頭注意等が多かった事項は次のとおりです。

- ① 使用済み精液（受精卵）証明書裏面の記入：不受胎時の情報（注入や移植日、注入や移植雌牛）が記入されていない等
  - ② 譲渡等記録簿等の記入：精液採取年月日や精液証明書番号が記入されていない等
  - ③ 授精証明書の記入：授精証明書の写しの保管がない、授精証明書番号がない（任意の通し番号を付す必要あり）等
- 引き続き、家畜改良増殖法遵守に御理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。



Instagram、フェイスブックで広島和牛の話題を世界中に発信中！フォロー・いいね！お願いします！！(^\_^)!



右のQRコードからご覧いただけます。スマートフォンの場合、標準カメラアプリをかざすだけで読み取り可能です！



Instagram



フェイスブック



広島和牛 NEWS は Web で閲覧できます！！⇒「広島和牛 NEWS」で検索！

右のQRコードから広島和牛 NEWS パックンバ-をご覧ください。スマートフォンの場合、標準カメラアプリをかざすだけで読み取り可能です。

今回は、令和6年8月21日発行予定！